

問4 保育園で働く中で、この人数ではもう限界、と感じたエピソードを具体的に教えてください。(記述)

191人が回答(全回答者の64.5%)

1	子ども同士のトラブルの時
2	イヤイヤ期に歩かないと言った子どもに対して戸外時に丁寧な対応をする事ができない。1歳4人をみているので。
3	トラブル発生時は当事者同士の対応をするため他の児に目がいき届かなくなり危険が生じる
4	・子ども達との毎日はある程度覚悟しているが、保護者の対応も年々大変になり、要配慮の保護者や外国籍の保護者に対してまでの対応が入ると負担を感じる
5	子どもが園に滞在する時間が長く、慢性的に残業をしないといけない。だからといって配置基準が今のままだと疲れが出やすい夕方の合同時間帯の怪我が増える危険性がある。
6	小規模保育の為8人の子どもを3人の保育士と1人の補助者で過ごしています。A型なので補助者は、人数配置に入らない為補助金はもらえませんが、安心安全の保育をして行くためには、不可欠です。それでも食事前の手洗いから食事、着替えなど見守ったり、手助けをしなくてはいけない時間帯は、5人で関わっています。家庭保育をやっていた時代には、5人の0~2歳児を1人で見ると時間帯がありました。その時は、トイレに行くことも大変でした。
7	保育中の見失い。認定されている障害児、親が認めない障害児、グレーの児童がクラス内に多数いながら、加配保育士がつかない現状。
8	横浜市の基準での保育をしているので大変だと感じることはあるが、限界とまではいかない。
9	発達が気になる子、遅い子に対して、加配がまだ認められないが、1対1対応が必要な子がクラスに数人いた場合、配置基準人数では保育が行き届かない。
10	乳児保育での、すべて。 食事、着替え、園外保育、かみつきのトラブル回避、長時間保育での職員の配置。
11	妊娠職員の体調不良時に代替りの職員がいない。だから結婚して子どもを授かるために辞める職員が多い。保育中の怪我がで病院に行きたいが、職員数が足りず行けない。 常勤パートや育休明け職員を1人と換算されてしまうと夕方の職員がいなく、未婚職員の負担が多くなる。
12	ケガの対応、体調不良の対応、嘔吐物の処理中などの、先生が1人または2人抜ける際の時間。短時間ではあるが、不安定になるので注意が必要。
13	人材育成という面で、社会人としての常識が備わっていない20代30代の方が増えているので、この人数で子どもの保育と一緒に保育士の育成となると限界だと感じる。また、ケガをして、通院者がでるとその時の体制が厳しくなったこともあったし、有給を消化していただきたくとも、なかなか消化させにくい。限界かもしれません。
14	子どもとじっくり関わる事で心の安定や安全にもつながることと感じている。今の基準ではプラスで保育士を増やすことも経営上難しいこともわかる。しかし、給食などの介助等落ち着いてすべきことが何人も見ているとそうもいかない。
15	発熱、嘔吐、下痢など、突発的な子どもの体調不良時。 プール遊び、園外散歩時に、対数以上に職員が必要な時間。
16	乳児は水遊びだったり着替えだったりの場面で、手をかける必要があるので1人で3人、4人を見る事は難しい。一人一人自我が見られ、好きな動きもしますがまだこちらの問いかけに答えることも難しい。必要な時は+1人お手伝いをお願いする場面がある。ということは1人に対する子供の人数は多いのでは？と思う

17	<p>配慮の必要な子どもたちが全体の3割をこえています。マンツーマンでないと安全が守れない子たちです。園外では手を離せません。保護者の理解や受容がないため現場が崩壊しています。加配がついても保育士は8時間労働であるのに子どもの保育時間は12時間です。常に人が足りないので心身ともに疲弊しているのに休みがとれません。</p> <p>もう何年も前から限界を超えています。</p>
18	<p>幼児クラス制作では個人差があるので丁寧に見ていくと1人では他の子を待たせたり時間がかかる1人では散歩にでられないので保育士の体制により活動が制限される</p>
19	<p>加配がついていない子でも、実質手のかかる子どもは多数いるので。</p>
20	<p>子どもの人数が多く、お散歩へ行くことも危険。災害や不審者などのイレギュラーなことがあっても、子どもたちを守れない。また、学校や幼稚園と違い、春休みがなく、新年度の準備のための日が1日もない。保育をしながら新年度の準備をして、4/1から新入園児を迎えて安全で室の高い保育を求められても不可能。正社員の待遇が悪い為、あえて非正規雇用を選ぶ保育士も多く、正社員の負担は増えるばかりで、より成り手が少ない。しわ寄せは子どもたちに行かないよう、保育士は心身をすり減らしている。休憩もとれないので、リフレッシュもできない。</p>
21	<p>トラブルの時の対応、排泄時の対応で、職員が、足りなく直ぐに対応しきれない場があった</p>
22	<p>一人が泣いている時に他の子のフォローが出来なかったり、独りを食べさせたい時に他のこが見れない等</p>
23	<p>災害時の避難訓練で子供が動かない時。散歩でも。</p>
24	<p>感染症がはやる時期にこどもが同時に吐いたり、こどもがお漏らしを同時にしたときに対応した時など</p>
25	<p>災害時を想定した避難訓練の際、0歳児3名を抱えて1名の保育者で避難しなければいけない場面があり、限界があると感じた。</p>
26	<p>ならし保育や日々の保育で</p>
27	<p>体調不良で休んだ保育者が多く人手が足りない時</p>
28	<p>トラブルがあった時や、食事の時間、保育士が、もっといれば、日々の散歩も増えると思います。特に食事の時に、保育士の手があれば、食べられない子や、食べるのに時間がかかる子など手をかけて見てあげることが出来る</p>
29	<p>夕方の保育</p>
30	<p>休みがとれない</p>
31	<p>配慮の必要な子が増えた</p>
32	<p>気になる子どもがいる中で。子どもに対しての保育士が足りない</p>
33	<p>外遊びでは、横浜市の規定人数だと子どもたちを見るのが難しい。</p> <p>特に今現在1歳児の担任をしているが、公園で遊んでいても遊んでいるところから出そうになったり、子ども同士のトラブルが多い。</p> <p>今の人数だと危険なことが多い。</p> <p>早急に対処して欲しい。</p>
34	<p>休暇が取れずに有給が消えた。</p> <p>お昼寝をしない子が増えて保育士が休暇を取れず、事務もできないことが1ヶ月以上続き事務仕事が溜まり、書類提出が遅れ、他職員に影響がでた。</p>
35	<p>1歳児12名、保育士3名。園庭遊びから部屋に入れる時。入りたがらなかつたり、お漏らしの子がいて、1人保育士が取られ大変でした。</p>
36	<p>入園当初は0歳児クラス3人が同時に泣いていれば保育士1人で見切れるわけがない。</p>
37	<p>お散歩準備で園児の靴下や帽子を履かせているとき、園児が友だちの腕を噛んでしまった。</p>

38	トイレ, 身支度, 食事, 散歩, 様々な場面での移動(外遊びから入室, 食事から昼寝等)
39	誰かが怪我をしたり漏らしてしまった時に 対応しきれない
40	乳児期には、本来は加配対象とすべき特別に配慮が必要な子どもがいても、低年齢のため基本的に診断がついておらず、最低限の保育士人数での保育を強いられます。 散歩中などは特に、一人の予測できない動きに対応するために、その他の子ども達の遊びを中断させてしまったりする場面も多々あります。 加配が必要かどうかは、医師の診断や療育センターの専門の方だけでなく、担任が判断できるべきだと思います。本当に、命を守ることで精一杯です。
41	業務負担が多く休憩もとれない
42	雨天時体力を使いきれず、噛みつきや引っ掻きが多発。ふせぎきれない。
43	同時多発的にケンカやケガなど起きることはよくある。そのとき子どもの安全確保で抱っこなりで無理に子どもを移動させたことがある。まだ、遊びたい子がいても他の子の対応が必要で謝りながら一緒に入室したこともある。子どもの安全を確保するために子どもの人権を守ることができない場面は何度も経験していますし、日常的に起こりうる基準だと感じてます
44	外遊び等で園児たちがバラバラに散らばって遊んだときに、各々が遊具等で遊び始めた際に安全に目が行き届かなくて危険と感じる。
45	感染症による嘔吐などがあった場合の対応や、乳児の食事介助、着替、午睡の寝かし付け
46	排泄時 食事の準備片付け
47	0歳児クラスで担任している時。成長するにつれ自己主張が出る中で同時に複数箇所で玩具の取り合いや場所の取り合いが起こる時。5歳児クラスを担任している時。発達障がいという診断がおりていないが個別的な配慮が必要。だけどクラスから外に出てしまった。しかし、中にはクラス活動を待っている他の子どもたちがいる時。
48	記録の多さ。おかしい保護者。保護者の質
49	職員に休憩をとらせてあげられない。休憩中も事務仕事をせざるを得ない状況になる
50	保育の質の確保
51	加配児も3対1となっても個別に関わらないといけない場面がただあり、他児もそれにつられて落ち着かなくなる場面がある。
52	3歳児 オムツをまだしている子どももいる中でオムツに排便があり、排便の処理をしながら保育室内にいる14人の3歳児を保育することはできないと感じた 日常的にこのように1人ではどうにもならないことが多々あり、安全に見守ることは不可能
53	0歳6名を4月始まってから新卒と自分の2名でみる。無理。
54	加配児、3対1では他の子どもに何かあっても、直ぐに動けず危険なことがあった
55	配慮を必要とする子が多い(加配児以外)
56	掃除、子どもの見る人等が人数少ないと回らない
57	2人の保育士で2歳児10人を見ていく中で一人でも発達の遅れがある子どもがいるとその子に1人つかなくてはいけなく、他の子どもたちを一人で見ているながら保育を回さなくては行けない。一人で見ている中で怪我をする子や子ども同士のトラブルの対応をしなくては行けない。
58	0歳児で1人で3人を見ていて排便のオムツを変えている間に2人が噛みつきあって怪我をした。幼児クラスでトイレに行けなかった。おもらしの対応をしてる間に喧嘩していた。

59	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー児を複数含む中の食事介助で、椅子に着席して食事ができない子どもがいた為、誤食の事故寸前であった。(1歳児) ・夕方人手不足により、保育士一人でお迎え対応をしているとき(3.4.5歳)どうしても対応中は子どもに意識を向けられず怪我が多発してしまった。 ・お昼寝後のお漏らし多発による対応によってトイレに行かなければならないとき、保育室に残っている子どもを見られず怪我をさせてしまった。(3歳児)
60	最低ラインの保育士数では、超勤も日々せざるを得ない状況となる。
61	2歳児10人を2人の職員で見っていた時、1人の職員が泣いている子どもと1対1で関わっていました。残り9人の身支度、また嘔みつきや引っ掻きもある場面をほぼ1人で見っていた時、心も体も限界を感じました。
62	特別な配慮を必要とする子が多く、少人数園でありながら対応しきれず、結局担任が全体プラスアルファで配慮のフォローをしている状態。一対一としても集団としても半端な関わりになってしまう。
63	<p>日常的に午睡中、睡眠の確認をしながら連絡帳を書き、保育計画、おたより、製作準備、雑務をしている間に目を覚まし起きてしまい泣き騒ぎ、抱っこして別の場所へ行き…濃厚接触にならないように子どもとは食事の時間をずらしていと食事する時間もない日があります。さらにそこに、職員会議などするとスキルアップの為の研修にも行けません。研修に行かなければ給料も上がりません。休憩も取れず11時間労働。トイレに行くタイミングも難しい事もあります。</p> <p>保護者対応、保護者支援している時間は実質マイナス1人の対応となります。避難訓練をすると北斗の拳の山の不動じゃないと対応できないような状況になります。</p> <p>さらに、0・1・2歳児は発達障害の診断はなかなかされません。クラスの半分が卒園してから診断をされたこともあります。また、早生まれの特に1歳児の春先は0歳児とほぼ変わらない発達の子どものも多く、クラスの75%早生まれ(3月産まれ)の年度もありました。この人数配置は限界を感じます。</p>
64	じっくり関われない。書類が終わらない。残業しても良いと言うが、生活が回らない。子どもの怪我やトラブル、予想もしない出来事が入ってくる事で、通常でもギリギリなところなので、より回らない。昔からあった事なのに、気付いても気付かないふり。現場の力量で何とかなるだろうという園もあった。職員も多様化し、任せる事が難しい職員と組む事で、より負担が増す。
65	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の子どもに対して保育士人数がギリギリのため、職員が1人休むと残業になってしまい病院の予定や外せない予定に行けないことがある。その残業で自分が仕事の疲れで体調を崩した時に、すぐに受診できず悪化してしまいなかなか治らなかつたり周りに迷惑がかかり悪循環に陥る。その時の疲れで起きた体調不良は自分の体調管理がなっていないと上司から言われることが多いので、腑に落ちないし自分ではどうにも出来ないことが悩み事と感じ限界を感じる。 ・ 年々保育への擁護や教育面での課題や要望が改定されて増え、それに合わせて個別などの書類を事細かに考えて書かなくてはならないが、業務時間内に毎日の書類にプラスして人数分の書類を毎月期日までに作らなくてはならないが時間がない。書類制作のための残業をしたいと話す上司に嫌な顔をされるため、休憩時間を無くして作業したり、タイムカードを切ってから制作している。保育準備や制作物の準備は持ち帰らなくては時間がないため、休日も家で仕事をしていることがよくあり毎日疲れが取れない。その割にお給料が安く、疲れた状態でいっぱいいっぱいの中で保育をしている現状を知らない人が多いことに心身ともに限界を感じる。
66	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事介助中の排泄処理や嘔吐処理。 ・ 職員の病欠や産休が重なり、乳児クラス14人を2人で保育した日が続いたこと。
67	トイレ介助等で、保育士や保育補助者が1対1についてしまい、現場の保育士が減ってしまう時。
68	毎日
69	<p>散歩時に、保育士1人で6名の1歳児を連れて行くのは不可能。</p> <p>同時に災害時等、6名を連れて避難できない。</p> <p>0才児についても、一人で、3人みていたら、ゆっくりと園児に寄り添い授乳するなんて出来ない。</p> <p>国は、この配置基準で保育所保育指針の内容をどうやって行うつもりなのか、逆に教えてほしい</p>
70	要配慮児がパニックになった際や保護者の対応が連続になってしまった際など

71	送迎重なったとき
72	支援が必要な子がクラスに数名おり、癩癩や他害を防ぐ対応に追われつつ、その他の子の集団の活動や指示も行わなければならない事。
73	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の数に余裕があったら、もっともっとゆったりとした気持ちで子どもたちに接してあげられるのに...と常に思いながら保育をしなければならないこと ・子ども同士の間わりで、手が出てしまったり噛みつきなど等から怪我につながりそうなことが同時に行った場合防ぎきれないと感じる ・長時間に渡る保育時間の中で、子どもがいる時間帯に平行して消毒や掃除などの環境整備を満足のいく形で行えない
74	正規職員のや休日取得が重なったり、急遽休みの職員が出たとき。また退職者が出て採用かけてくれても補充されない。
75	グレーのお子さんが多い中で配置基準では常に行き届いた保育が出来ない
76	プール活動など季節ならではの遊びでは、子どもも楽しさから落ち着かず、見きれない時がある。
77	全てにおいて人が足りてない。月案や児童票などの書類仕事も勤務時間中に出来たことがない。
78	散歩や夕方の保育士人数がギリギリの状況を思うと休暇を取りにくく、プライベートの時間を削っていると感じてしまう。 0歳や1歳の子はまだまだそれぞれのペースでの生活や自己主張があるにも関わらず、保育士の人数が足りないため、集団のペースに合わせなければならず、子どもにも負担があると思う。
79	療育センターの予約ができずにいる子に対して健常児と同じと見なしている為、保育士の人数を増やさずに見ている。国の基準配置人数が足りない。保育要領の理想と現実はずいぶん。給料安い上、仕事量が多い。子どもを増やしたい為に親への待遇を良くしすぎ。保育の現場を国は知らなさすぎ。保育士の事は全く考えていない。
80	0歳児5人を新人と2人担任で見えていたが、1人オムツを替える為に抜けた後4人を新人が見ていた際に怪我がおきた。 自分の子どもが体調不良で休みたいくても常にギリギリの体制の為やすめない 発達に問題を抱えている子どもが増え、乳児の時には診断も付かず、加配が必要な状態でも基準通りの配置で見きれない 日々の保育の中で常に限界を感じている
81	どうしてもギリギリの人数でやっていると、『ちょっと待って』ということになり、子どもも“受け止められ感”が全く得られない。私たちは子どもの発達を専門的に学んでいるので、そういう子どもの気持ち分かるだけにすごく歯がゆい。未来ある子どもを育てるには丁寧な関わりが大事だとわかっているものの、人手が足りずそこまで手が行き届かないのが現実です...

82	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0歳児3人を1人で見るということは、発達もばらばら食事形態もばらばらな状態、1人は寝て1人はミルク、1人は食事となれば職員1人ではどうしようもできない。ミルクを作りに行けない ・ 寝かしつけに、おんぶに抱っこ、コンビラックを足で揺らすという危険な状況下にあったことがだいぶ前ですが過去に他園である。 ・ こどもがぐずったり、入室を渋るなどで対応者が1人取られれば、その時点で他の対応者は対数以上のこどもを見ていることになる ・ 個々に寄り添った丁寧な保育を求められるけれど実際には個々に寄り添えるだけの時間を対応できる配置ではない ・ 行事等の際の土曜日保育も園からは断れず、保護者からの過剰なサービスの要求やクレームなどを受け、限られた人数で対応する現状に無理がある ・ 加配児がクラスの人数の中で割られると、結局の所、加配児の対応に1人、その他全員を他職員、幼児なら1人で見るとフォローしきれない、保育者がトイレへ行くなどクラスから離れられない。 ・ 朝夕は合同保育でどうにか乗り切る、フロア内でのカウントで対数をどうにか乗り切るなど、実際の配置への明確性に欠ける ・ 職員の休みが入っている際などに自分の体調不良時も無理して出勤していたことがある。余剰人員が配置されないと休み難い
83	<ul style="list-style-type: none"> ◎1歳児クラスで噛みつき、ひっかき多発 ◎イヤイヤ期で活動を嫌がる子が多数いてそれぞれに対応しきれない ◎0歳は発達に差が出るので散歩中1人散らばってしまう
84	<p>朝夕の人数配置が不十分で、加配児が複数いる中、受け入れ引渡し時など（現在保護者が部屋の中に入れないので荷物の片付け布団カバー付けなどは職員が行う）十分に目が行き届かない場合の子どもの同志のトラブルが起きた時など安全に子どもたちを守れないと思う。また、職員の休みが重なってしまった時に十分な人数配置がされず負担を大きく感じストレスも感じる。</p>
85	<p>子どもの体調不良時。子どもが崩れた時。子どもが怪我した時。加配申請できていない子どもに手が必要な時。一斉保育が難しい子どもが増えているので個別対応が必要な時。</p>
86	<p>丁寧に対応したいのに出来ない。</p>
87	<p>1歳児と手を繋いで散歩に行く際、急にしゃがみ込んで歩かなくなった子どもを他の子どもも含めて複数見ていたので道路の真ん中で立ち往生してしまった。他の保育士も子どもを見てるので動くことができず難しさを感じた。</p>
88	<p>保育指針が変わり主体性保育になった。主体性保育を取り入れると今の対人数で、保育することは無理がある。またいろいろな障害が増え、加配までは行かない子の対応をしているとクラス全体に目が向けられず、活動が前に進んでいかない。書類が多すぎ。保護者の保育に対する要望が年々多くなっている。</p>
89	<p>幼児25人の中に、配慮が必要な子が3人。配慮児は認定されていない為、1人で全てを見ないといけない。</p>
90	<p>食事から午睡にかけての時間</p>
91	<p>幼児クラス 昼食準備で配膳しながら、待っている子どもを見ていた時。子ども間のトラブルを防げず、保護者からクレームが来た</p>
92	<p>食事や場面の切り替えの場面では手が足りず、そんな時に噛みつきなど子供たちのトラブルがおきる。また加配申請はないが目が常に離せない子がいたりすると、一人保育士がつきっきりになり他の子とゆったり関わることでもできず、とにかく安全に過ごせることに重点がいきついで、子供の気持ちに寄り添いゆとりのある保育はできない。</p>
93	<p>コロナ禍に、配置基準に沿わなくても開園する通知があり、少ない保育士数で、開園はするものの安全に、見守ることも精一杯の日が続いた。</p>
94	<p>園庭にて保育をしている時、4人の1歳児を見ていたが、それぞれが別の方向に歩き出し、まだ歩行時も転倒することが多かったり、保育者の手が必要な遊具を遊びたがっていたり、その際に1人では安全に子どもたちが過ごすことは厳しいと感じた。</p>

95	一人の子ども（障がいを持つ子ども含む）を対処中他の子供がケガ、喧嘩、訴え等出しても対応できないなど。
96	多動など発達障害があると思われる子が複数いる時などは特に配置基準での保育士数では安全を図れません。戸外遊びなどは特に難しく広い公園などは散り散りになる、道路に出ようとするなど危険があるので決まった公園、散歩ルートにしか行けない。 保育の日常生活でも他害がある子がいるとその子につきっきりになり、1~2歳児でも配置基準以上の子を一人で見ることになる。クラスがまとまらない。それが悩みになり病む保育士が多い。また子ども一人一人の援助の仕方、保護者への伝え方など考えたり保育以外でも書類や遊びの工夫、ピアノの練習、準備物など休日に行う事が多く体も心も休まならない。
97	(想像ですが)地震が来たら、0~2歳の子ども全員を守り切ることができるとは思えないことです。 トイレやおむつ替えなどの時、保育士ひとりがかかりきりになるので、その間他の子どもが危険なことをしそうになったり、お迎えで保護者に対応していると心配です。
98	子どもがケンカやけがで泣いている時にそこに職員1人がかかりきりになり、他の子どもを自分だけで見なければいけなくなり、管理的になってしまうことが多々あります。 不適切保育ということばが話題になり、子どもの人権について注目されている中で上記のような状況などで少し大きな声で呼び止めるだけで保護者や世間の目が痛く感じます。
99	1.2歳で嘔吐の処理をしている間のお漏らしやケンカの仲裁が重なった時。落ち着きがなくよく動く子どもが数名いると、そちらを主に見る先生がいるので、その他の子どもに対して手薄になる事がある。
100	休憩がとれない こどもの気持ちを受け止める保育者の余裕がないときがある
101	自分がトイレに着いていた時に、部屋の反対側の方で嘔みつきが起こった時
102	担任1名、補助午睡前まで1名で2歳児8名を担当していた時、8名中、2名はADHDの疑いの子がいた。保育中は他の子どもの安全確保など色々な面で1人で見なければいけない時間は特に普段で限界を感じた。 担任2名で0歳児を7名担当しているが、月齢差があったり、食事ではアレルギーの子どもがいたりして補助が入る時間もあるが、基本的に職員が足りないので必要な時間に手が足りず安全面の確保、丁寧な関わりができず、日々追われている感じがする。
103	子どもひとりひとりに対しての対応の仕方が違うので、一対一の対応が必要となる。
104	・年齢が小さいほど生活がばらばらで、常に人手が必要。食事や休憩が取れない、勤務時間を過ぎても退勤できない。保育以外のことを上がったあとに残ってやらなければいけないが、残業代は出ない。 手は二本しかないのにそれ以上の人数を、どうやって安全で快適に保育していけばいいのか。 ・会議の時間がとれない。話し合う時間がない中で、保育者間の連携がとれていないといけない、月末には月案を計画しなければいけない。
105	1歳児クラス8人を2人担任で保育しています。散歩から戻ってきた時、子どもから「靴を自分で脱ぎたい!」「1人では脱げない」とそれぞれの子から涙の訴え。そこに排便した子もいたため、7人の子どもを1人でみることに。どの子にもしっかり向き合いたいけど、怪我がないように安全に見守ることが精一杯でした。本来なら「ジブンデ」と主張する子ひとり1人に寄り添いたい。でも、それができない事に常に限界を感じます。
106	休憩を回せない。 登園時や降園時に保護者や子どもがたくさんで対応するのが大変
107	人数もそうだが、関わりが難しいお子さんがいて認定を受けていない状態の子どもがいる場合加配が無いのは、ひとり一人に合わせた保育が難しい。
108	乳児クラスの一斉の排泄中、失敗した処理をしながらも他の子どもを見守り、終わった子どもを散歩の準備をさせるなど、とても大変だった。
109	朝の受け入れ時間、保育士が少ないのにどんどん子供が増える、特に乳児クラスの子供が多いと幼児クラスが手薄になってしまう。

110	加配児が多いので、その子たちについてしまうと、他の子たちの保育ができない。どうしても後回しになったり、ちゃんと向き合ってあげられない時が多い。
111	話を聞けない2歳児が多く、6対1の状態での自由遊びは良いが着替えなどになるとちゃんと着替えている子もいるが走り回る、寝転がるなどする子もいると怪我に繋がる為、厳しく叱るがなかなか注意が入らずを繰り返す日々。
112	配慮が必要な児童と十分に関われない。 どうしてもその子達ばかりに目がいってしまい、他の子たちへの意識が薄くなってしまう。
113	午睡後の支度
114	園庭 お散歩などの時 集団行動が取れない子が数人いる時の対応に困った お昼寝時に、叫び声を出して、寝てる子を起こす
115	夕方や朝の受け入れ時の保育の中で、クラスの子ども達を見なくてはいけない、また送迎時の保護者とやりとりをしなくてはならない時の、トイレの見守りやお漏らしの対応など。 また体調不良の時の突発的な嘔吐のときなど。 人が少ない時起こりうる事案がよくあった。
116	散歩中、子どもか座り込んだ時、ゆっくり関わりたいのに他のこどもから目を離せなく、ゆっくり子どもの気持ちにより添えなかった。
117	多動児を含めて公園にお散歩に行く道中では1人飛び出して行く児童を追いかけなくてはならず、他の児童を置き去りにしてしまう事が多々ありました。
118	・散歩に出られない ・残業が多い、休憩・有給が取れない
119	休憩時間が取れないこと
120	個別対応が必要な子が多いため
121	休憩が取れない。 勤務時間中ずっと保育に入っているので書類関係や保育の準備がすべて勤務時間外だが残業代は出ない。 変わりに入る人がいない為、病気でも休めない。 自身のトイレにも行けず、膀胱炎になった。
122	戸外で子どもたちが様々な方向へ遊びに行ってしまった時、イヤイヤをして帰れなくなってしまった時、受け持つ人数で保育士を雇用してはいてくれるが、有給や土曜日出勤の振替休暇があり保育士が足りない時にフリーの保育士がいない現状
123	・戸外活動の際、一歳児クラスの場合は横浜市の対数でも8人を職員2人で連れて行くため2歳前後のこどもに手を繋いで歩くことを強要してはいけない。 ・書類関係、保育準備の時間を就業時間内に取れることはない。休憩時間を充てるか持ち帰り家でやらざるを得ない。当然就業時間外なので無給。求められることは増えているのに対応するための時間は与えてもらえない。 ・配慮児がいたとしても1/3や1/2だと加配がつかず安全面の担保が難しい。 ・子どもの施設利用時間が長いため、誰かしら職員が残業をしないと保育士の対数が確保出来ない。
124	配慮が必要なお子さんもいるなか、支援児とされていないが配慮を必要とするお子さんが増えており、危険が伴うことが多くあり、安全確保のために複数の保育者が必要だった。また、危険な状況になってしまう前に子どもの心に寄り添う保育をするためには、より多くの保育者が必要だと感じた。
125	外遊びの時子供達がバラバラの遊びをする場面。 砂場や滑り台、三輪車やボール遊びなど全ての子供に目が行き届かない時。
126	1クラスに個別対応が必要な子どもが2人以上いるのに補助職員が1人の時

127	認定はついていないが、支援が必要なお子さんの増加。また愛着不足で不安定のお子さんも多いです。それはどの園でも感じていることかと思います。
128	書き切れません！
129	人が足りてないから残業、人が足りてないから子どもと十分なかかわりがもてない。保育のしたい内容ができない。
130	嘔みつき、ひっかきなどが絶えず、どんなにそばについていても一瞬の隙に怪我に繋がる。子どもがパンツにうんちをしたら保育士が無人（幼児）、マイナス1人で残りの人数を安全に保育、配慮が必要な子に人が当てられず、対数通りになり、その子にかかりきりになれば、周りが危険、周りを見てれば、配慮児が危険。トラブル対応中、別のところでもトラブルが起るため、丁寧な対応ができない。他にもいろいろありますが書ききれません。
131	園庭で園児と遊んでる時、おもしろい子どもの着替えをするために、先生と園児が園内に入るなどのシーンがあると、1人ではとても無理です。
132	個別対応が必要なお子さんが年々増えている
133	配慮が必要な園児だが加配が付いていないため、規定の保育士の人数では園外に出ることが難しい。室内遊びが続くと揉め事や怪我も多く精神的に疲れる。
134	特に3歳以上児は一人ひとりに丁寧に関わることは今の基準では無理だと思う。育成記録など一人の担任に掛かる仕事の量も多い 災害時や防犯上の安全面を考える上でも国の基準では守りたいものも守れない 保護者対応など保育士の心身の負担が多い その余裕のない中で質の向上なんて無理
135	朝の職員が足りない時や配置人数が少なかったりすると戸外の活動ができなかったりする
136	認定されないグレーゾーンで支援の必要な子どもが増えている。認定されないと職員を増やせないが、保護者が認めないケースが多く、その対応も難しい。
137	加配児童や、一人ひとりと丁寧に関わりたいと思う時に思うように関われない。
138	食事では、0歳三人を保育士一人では、口に入れられず半分はこぼしてしまうので、栄養の面で不足してしまうのではとってしまいます
139	保護者が認めてくれない配慮児が居たときに、最低基準ではどちらかが犠牲になります。
140	・0歳児の担任になり、1人で月齢の違う3人の0歳児をみている時。1人は眠くて泣いていて、1人は保護者と離れ寂しくて泣いていて、1人は排便があり、どれも大切にしたいが、保育者1人では、誰かを待たせ泣かせておくことになってしまった。 月齢も違う生活リズムも整っていない0歳児を3人も一人でみるのは難しい。 ・1歳児をみている時、1歳児の自閉症と思われる子が公園の外に飛び出しそうになるので、保育者1人がそれを追いかけて、残りの1人で他7人をみなくてはいけなくなった時。友だちとか関わり方がまだうまくできないので、嘔みつきそうになったり、砂を食べそうになったり、高いところに上りそうになったりする7人を保育者1人では安全に保育することはできない。配慮児も増える中、この配置基準では対応できない。
141	戸外活動の際に怪我や危険な場面で、1人保育者が取られてしまうと、引率するのが難しい。

142	<p>1歳児担任の時に24人の子どもを保育士4人で見ていました。4月は新入園児が15人、0歳児からの進級児9人、新入園児と進級児の子と一緒に過ごすことは生活リズムや情緒面を考えると無理だったので、分かれて過ごしました。</p> <p>そのため、基本15人の泣き喚く、歩ける子と歩けない子をが混じり合う中保育士2人で見る、今思い出すだけでもカオスです。</p> <p>抱っこにおんぶで1人が密着してあげられるのは2人まで。保育士が2人なので、4人の子どもしかしてあげられない。残りの11人は泣き叫び、私も抱っこしてた言いたそうに足から登ろうとする。</p> <p>食事もまだ食べ方がわからないのでこぼす、椅子に座れない、皿をひっくり返す、食べ物を喉に詰まらせてヒヤッとしたこともありました。</p> <p>昼寝は寝かしてあげる手がない。寝たいのに寝られない子、眠くないのに無理やり寝かせられる子。無理やり寝かせないと見る保育者がいないからです。横になってくれれば手がかからないですし。</p> <p>対人数が余裕なさ過ぎて転職しました。</p> <p>幼児の対人数だけでなく、乳児の対人数も見直した方がいいと思います。</p> <p>子どもが好きで保育士になったのに、子どもが嫌いになりそうです。</p>
143	<p>家庭的保育では、施設長と補助員各1人の2人体制になる場合もある。子ども達のお迎え時間が近づき施設長が連絡帳記入を4人分仕上げていて補助員1人で4人の子どもたちの帰り支度（おむつ替えや身支度の補助など）を順番にする際に、遊んで欲しい子どもに接してあげられる余裕がない時は子ども達に申し訳ない！人手が足りない！となる。</p> <p>そこに、私は補助員と事務を兼ねているので、事務の問い合わせがあるとそちらを優先することも多いので業務に支障をきたすことも少なくないで限界に思うこともある。</p>
144	<ul style="list-style-type: none"> ・保育と記録で休憩をとるのもままならず、疲れが取れずに、子どもに寄り添った保育をしてあげられる余裕がなくなる。 ・一人ひとりに寄り添った保育を求められているが、今の人数体制ではとうてい無理 ・数カ所で喧嘩が始まり、仲裁が間に合わず、怪我に... <p>等、まだまだ限界な部分はある。</p>
145	<p>新学期がはじまり、子どもたちと関係を作る中で1人でじっくり関わるには限界があり、毎日全員とは関わらず、幼児クラスの数では一日どこで何をして過ごしたいかもわからないこともある。</p> <p>様々な子どもや家庭でのしつけなども合間り、昔のような自発的な子どもや外に出たりしている経験も浅い子が多く、体力面や体の使い方もしっかり積み重ねていくため、丁寧さが必要の中で20を越える人数を1人で見るには限界がある。</p> <p>また、発達障がいと言われなくてもグレーゾーンの子、発達のゆっくり中子どもも含めたこの人数では、加配がぴったり着くなどが皆無なので、クラスの部屋にカギをかけたり、子どもに制限をかけるなど、実際には自由にさせたくても、やりたくない対応もせざるおえない。</p>
146	<p>4月は、まだ子どもたちが慣れていないので、登園時や、食事、保育の活動に、保育士が新入園児につききりにならないと危険なこともある。</p> <p>その時の全体を、他の保育士が、ひとりで沢山の子どもたちを見なくてはならない場面。</p>
147	<p>一歳児・散歩中、イヤイヤ自己主張始まる。他児も連鎖反応が起きる。車や自転車は近くを通るのに、まともになりがなくなり、イヤイヤの気持ちも受け止めたいし、じっくり対応したいけど、抱っこ出来る手はない。全体の命を守るため、泣かして歩きながらの散歩。気持ちに寄り添えないモヤモヤが残る。</p>
148	<p>国の配置基準では、一人一人のペースや、道中の発見に寄り添って楽しく散歩に連れて行くのは不可能。散歩ではなく園庭での外遊びでも不可能だと思う。そのため、当園では0歳児は保育士2：子ども3、1歳児は4：7、2歳児は3：8で散歩に行っている。</p>
149	<p>加配対応の園児が増えてきても対応できるだけの職員数がない。クラス運営が大変。</p> <p>一人が対応していると、もう一人が他の子ども達全員をみなくてはならない。十分な職員配置ができない。</p>

150	外遊びで保育者3人1歳児クラス10人0歳児クラス1人が順番に階段を降りる際、先頭に1人保育者が8人を引率し、足取りがおぼつかない3人に後方で保育者2人が付き添っていた。 すると前方の列で、手すりから離れて前に行こうとする子がいて、そばに保育者がいなかったため危険だった。
151	0歳児3名を1人で担任しました。室内、入眠前、転倒し骨折させてしまいました。一歳二ヶ月の男児ですが歩行が不安定の段階でした。他の2人を寝かしつけしている間にフラフラ歩いていて、床面につまづき転倒、左肘骨折。対一で付き添えていれば転倒時に補助できたのと思いました。その後も担任は1人のまま、二ヶ月後にも同じ子が室内運動遊びで転倒、同じ箇所を骨折しました。 また、ミルクを作っている間は他に誰も子ども達を見ていません。その間に嘔みつきや転倒もあったようです。更に、避難訓練をしてみて、実際の災害時などは1人で3人を守れないと痛感しています。 園庭の滑り台遊びをしている時、子ども3人の動きはバラバラ、発達差もあり、子ども1人を階段から落ちないように登るの見守りながら、もう1人は滑り始めていて、着地点で前倒などでヒヤリとしました。
152	発達障害の子供たちがとても増えています。数字の上だけではなく、一対一の対応が必要な子も多いです。
153	普段の保育をしながら、係になった行事の役割をしなくてはならないこと。 予行練習などで係の人が抜けても、クラスの保育はしなくてはならないため、パート、正規に関わらず時間通りにかえれないし、帰りづらい
154	仕方がない事だが、保育士の当日の急遽の欠勤が多い時、朝の受け入れ時の電話対応など。
155	<ul style="list-style-type: none"> ・休みが取れない。 ・フリー職員がいないため戸外からの入室時に子どものトラブルや怪我があった。 ・事務職員がやるような電話対応も保育をしながらやることごある。
156	特に0歳児はトイレ、睡眠、食事のタイミングを合わせられるはずも無く、それぞれの対応では、2対1でも厳しく感じることが多い。そのしわ寄せは、子どもに行くこともあれば、保育士の薄給か事業者の経営難につながる。
157	配慮の必要な子どもがクラスにいるのに、加配加算前なので、十分な配慮が出来ない場面や休暇が取りづらい年度があった。
158	幼児25人程度を1人で見ていた時の避難訓練。園舎内に他の職員がいたが配置基準で避難が実際にできるかを試しにやってみたことがある。こどもを集め人数確認するだけでも時間がかかる。しかも人数が合わず、でもこどもを置いて探しに行けず。結局避難訓練に気付かず物陰で遊んでいた子がいた。複数いればこどもを集める人、死角に子どもがいないかなど点検をする人など役割が分担できる。訓練だったからよかったがこれは無理だと感じた。
159	うちの園では配置を多くしてもらっているのですが、保育場面だとあまり感じないのですが、会議などの場面では人数不足で体制のやりくりで苦慮しています。
160	障害児が多いのに職員が足りない
161	いわゆるグレーと言われる子がいるがその子も含めて1人で見なくてはいけない状態
162	給食や午睡の準備で職員が抜けなくてはならず、同時に子どもの支度（手洗いや着替えなど）で慌ただしい時間に職員が少なくなり、個々に寄り添う対応が出来ない（0歳児担当）
163	限界にならないように正規職員が体調不良や自分の子どもの体調不良で、休みが取りづらい現状がある。有休や夏休みも取りにくい。
164	要配慮の認定ができない年齢だが、あきらかに加配が必要なお子さんだと思われるのに、保育者の人員は追加されない時
165	新年度、泣く園児に対してゆっくりと関わってあげられない。また、進級児を待たせたり我慢をさせてしまう。保育者の疲弊も大きい。
166	避難訓練で0歳児の避難をしするのに3人は抱けず、他の職員が来てくれるのを待っていた時。

167	1月から産休に入る人がいて、絶対に入れるからと親会社に言われたが、入れて貰えず2人欠員状態が続き、お子さんがいる職員が休み残業パラダイスになった時と休息が取れず精神的に辛くなり泣きながら保育をしていた時。
168	4月入園当初0才児クラスに入った時、泣いている子をあやししながら、もう一人泣いている子をあやし、それとは別に周りの子の様子を見守っていらなければならない現実がきつと感じた。
169	配慮児や加配が必要な子どもたちが急激に増えている中でのクラス運営。加配がついている子はプラス加算されているが、そうでないグレーゾーンは加算されない。通常に保育しなきゃいけないことは承知しているが、日々疲弊している。
170	避難訓練の時保育士1人で1歳児6人連れて安全に逃げるのは絶対不可能だと痛感 散歩の手繋ぎを1歳児6人をどうやって1人で手繋ぎできるのか配置基準を考えた人に教えて欲しい 6人にどうやって1人で食事をたべさせて、汚れた食卓、床を掃除して汚れた服を着替えさせて、オムツ替え(排便してる子もいる)ができるのか配置基準考えた人に見本を見せて欲しい
171	1~2歳児などで噛みつきや他害があると手が足りない。他害対応などをしてしていると、次の設定の準備などができない。手繋ぎで歩いて散歩に連れていくのが大変。散歩の時の手が足りない。
172	<ul style="list-style-type: none"> ・一歳児で噛みつきやひっかき、不慮のケガが多発した時（保護者対応も含めて）、精神的にきつかったです。 ・午睡中に、連絡帳以外の事務（日誌や月案、おたよりの原稿など）が終わらない時、追い詰められています。 ・行事で乳児をまとめて行かなくてはならない時。（これは園内での検討が必要）
173	噛みつきなどのトラブル、グレーの子への対応、公園遊び、他色々とな数の制限でより良い保育より安全性の確保だけで精一杯になりがち。
174	朝夕の子供の保育人数と保育士数が合わず残業になる
175	日々
176	一歳児クラス12名。月齢幅が広く、なおかつ配慮児がクラスの三分の一以上(認定外)。急な職員の欠勤で2人体制。排泄対応に1人があたる間、他全員は1人で対応。噛みつきが起りやすい年齢でもある時期、子ども同士のトラブルが起り、対応中に他児の加害トラブルも発生、パニック状態。
177	行事や書き物が重なる時期。 職員の体調不良や家族の為の休みの人数が多くなると時間外に加え、休憩も無く仕事が過密になる。お互い様と助け合うが、心身共に疲れる。
178	配慮が必要な子が多くなってきている為、多動、手が出やすい子がいる時には 1対1でつかないといけない。そして、なおかつ他の子ども達にも満足いく活動が保証できてないとき。
179	残業が増え、帰宅時間も遅くなり健康面での不安を日々感じています。コロナや感染症に罹る職員も増え、職員不足が深刻化が雪だるま式になっています。
180	早番から遅番までのシフトがまわりきらない。 職員の休みが体調不良などで急に入ると、子どもを合同にして、多い人数を少ない保育士で保育しなければならない。
181	朝夕の保育もある中、感染対策で消毒、こどもの検温、チェック記録等しなくてはいけないことが多く、子どもと関わったり保護者と話す時間がありません。
182	自己主張真っ只中の一歳児12名。保育者3名。あちこちで気持ちのぶつかり合い。その都度丁寧に対応したいけど、対応している間、それ以外の子を安全に見守るのは相当の負担。
183	噛みつきを防ぎきれない 幼児のトラブルの解決に向き合えない。 認定なしで配慮が必要な子にゆっくり関われない。 事務仕事が片付かないので、常に余裕が無い。

184	1・2歳児の戸外活動で公園に行く際に徒歩で向かうが、個々のペースに合わせて歩けない。前を向いて歩いて、間を空けないでと言いつけなければならない。子どもだけでなく保育者の気持ちにも負担。現行の配置基準では目が行き届かず、子どもと余裕を持って関わるのが難しいため、集団をまとめるとなると高圧的に子どもを抑えがちになる。
185	夕方、6名の0歳児を一人で保育した時に、急に泣き出したり、他児とのトラブルにあり対応が大変だった。他のクラスの職員を呼べる保育室ではなかったこともあり。
186	こどもに1対1でかかわらなければいけない場面が多く人手がたりない
187	時間外保育で夕食、軽食の子どもが多数いる場合(特に乳児がいる場合)に、昼間より職員の数が減ってしまうので、安全管理が手薄になる。また、保育室の掃除や消毒等の仕事もあり負担大。
188	コロナ禍(職員がコロナにかかり)で職員不足に陥った時、フリーの先生が多くいたら...や、やはり休園にするべきでは?と思いました。
189	戸外、室内どちらも遊びたい子どもがいる場合、担任1人では出来ない
190	丁寧な保育を目指しているが、保育士は疲弊していく。自我の強いクラスではどんなに一日中神経を使って目を向けていても怪我を防ぐことも出来ない。それも保育士の余裕のなさが子どもたちに伝わっていると感じる。
191	グレーの子たちが増えている中で、どちらの子たちもの関わりや配慮が不足している。